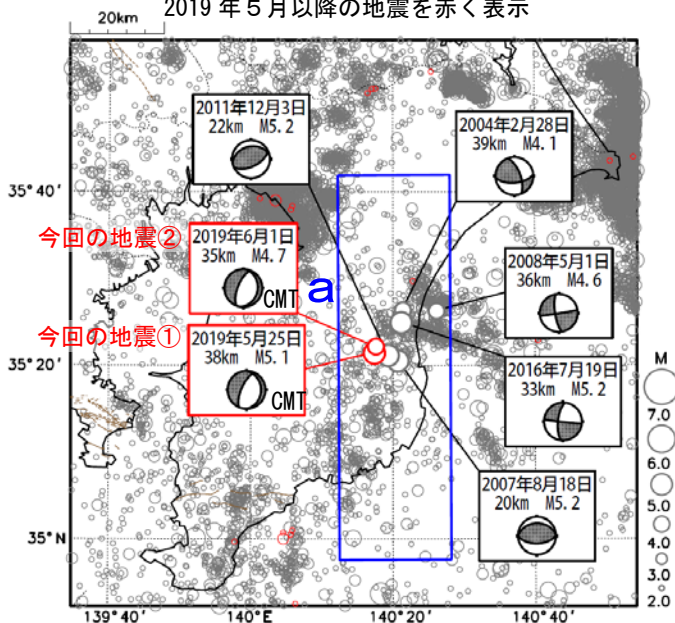


5月25日、6月1日 千葉県北東部の地震

5月25日の地震の情報発表に用いた震央地名は「千葉県南部」である。

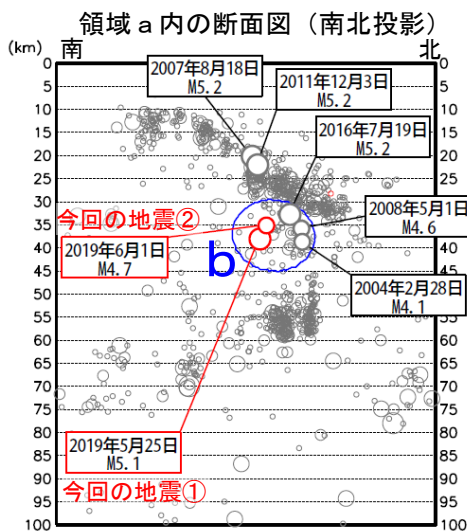
震央分布図
(1997年10月1日～2019年6月1日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2019年5月以降の地震を赤く表示



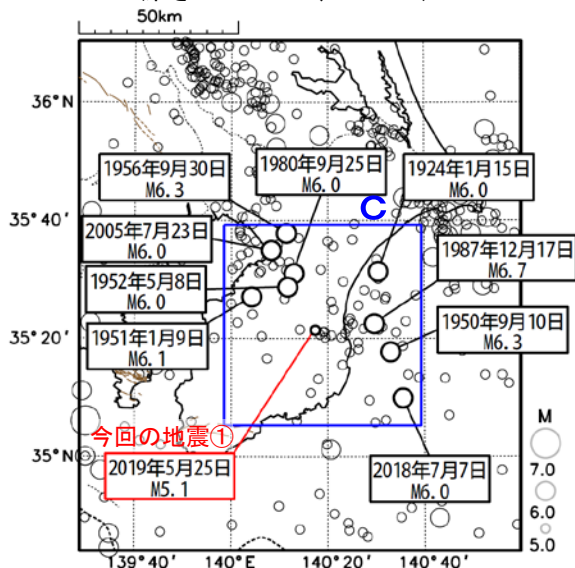
2019年5月25日15時20分に千葉県北東部の深さ38kmでM5.1の地震(最大震度5弱、今回の地震①)が発生した。また、1週間後の6月1日07時58分にも深さ35kmでM4.7の地震(最大震度4、今回の地震②)が発生した。これらの地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。なお、5月25日の地震により、軽傷者1人の被害が生じた(6月3日現在、総務省消防庁による)。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、あまり地震活動が活発ではないものの、M4.0からM5.0程度の地震が時々発生しており、2016年7月19日には、深さ33kmでM5.2の地震(最大震度4)があった。なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、まとまった地震活動が時々みられる。今回の地震は、これらの地震活動よりも深い位置で発生した。

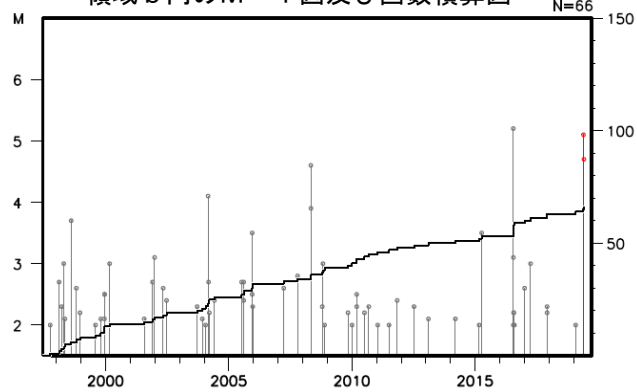
1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震(最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。



震央分布図
(1922年1月1日～2019年6月1日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

